



西海市

No.
52

2018年11月5日
発行

議

会

だより

The SAIKAI
Municipal
Assembly
News



「憩う」

西望平和賞・県知事賞受賞（日本画）
林 俊範氏（大瀬戸町）

おもな内容

平成30年第3回西海市定例会 P2
常任委員会審査報告 P3~P5
一般質問 P6~P11
委員会調査報告 P12
市民の声 P13
議会クイズ、編集後記 P14

平成30年第3回定例会

会期：平成30年9月7日～9月27日（22日間）

第3回定例会で審議された議案等は、市長提出議案27件（報告案件7件を含む）、請願2件です。

委員会に付託された議案及び請願は、各委員会において審査されました。

【付託内訳】

予算決算常任委員会……………2件
 総務文教常任委員会……………5件
 産業建設常任委員会……………6件
 厚生常任委員会……………9件

今定例会に提出された請願第2号「地方財政の充実・強化を求める意見書採択願」及び請願第3号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について」は、不採択となりました。

市政一般質問は9月11日から13日までの3日間行われ、12人の議員が質問を行いました。（市政一般質問の概要については、6ページから11ページに掲載）

閉会中の継続調査は、総務文教常任委員会から「公立学校の空調設備整備について」及び「公有財産の利活用について」、産業建設常任委員会から「ふるさと納税の取組について」、厚生常任委員会から「地域医療を守る取組について」及び「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望について」の申出があり、決定されました。この議会閉会中の継続調査については、調査終了後に議会だよりで報告します。

平成30年第3回議会定例会で審議した案件及び結果

議案番号	件名	付託委員会等	議決の結果
報告第19号	西海市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認について	本会議	承認
報告第20号	平成29年度決算に係る健全化判断比率の報告について	本会議	報告済み
報告第21号	平成29年度決算に係る資金不足比率の報告について	本会議	報告済み
報告第22号	権利放棄の報告について	本会議	報告済み
報告第23号	株式会社大島町中央商店街振興公社平成30事業年度事業計画及び予算並びに平成29事業年度決算報告について	本会議	報告済み
報告第24号	一般財団法人西海市農業振興公社平成30事業年度事業計画及び予算並びに平成29事業年度決算報告について	本会議	報告済み
報告第25号	健康ほけん課公用車の物損事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
議案第49号	西海市過疎地域自立促進計画の変更について	総務文教	原案可決
議案第50号	西海市税条例等の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第51号	西海市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第52号	西海市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第53号	西海市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第54号	平成29年度西海市一般会計決算認定について	予算決算	認定
議案第55号	平成29年度西海市国民健康保険特別会計決算認定について	厚生	認定
議案第56号	平成29年度西海市後期高齢者医療特別会計決算認定について	厚生	認定
議案第57号	平成29年度西海市簡易水道事業特別会計決算認定について	産業建設	認定
議案第58号	平成29年度西海市下水道事業特別会計決算認定について	産業建設	認定
議案第59号	平成29年度西海市工業団地整備事業特別会計決算認定について	総務文教	認定
議案第60号	平成29年度西海市交通船特別会計決算認定について	総務文教	認定
議案第61号	平成29年度西海市介護保険特別会計決算認定について	厚生	認定
議案第62号	平成29年度西海市水道事業会計決算の認定について	産業建設	認定
議案第63号	平成29年度西海市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	産業建設	原案可決及び認定
議案第64号	平成30年度西海市一般会計補正予算（第2号）	予算決算	原案可決
議案第65号	平成30年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決
議案第66号	平成30年度西海市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決
議案第67号	平成30年度西海市介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	原案可決
議案第68号	平成30年度西海市水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決
請願第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択願	総務文教	不採択
請願第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について	総務文教	不採択

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では決算案2件、請願2件、その他の議案1件の審査を行いました。主な審査の概要は次のとおりです。

議案第49号 西海市過疎地域自立促進計画の変更について
原案可決

この議案は、西海斎場の老朽化による改修事業を、西海市過疎地域自立促進計画に追加するものです。

質疑 西海斎場の改修工事は、通常の火葬業務に支障はないのか。

答弁 修繕は、火葬炉の運転をストップした状態で行うので、夜間または火葬が入っていない時間帯で修繕するよう計画している。



西海斎場 (西海町)

議案第59号 平成29年度西海市工業団地整備事業特別会計決算認定について
認定

歳入	5269万1585円
歳出	3425万9110円
差引額	1843万2475円

質疑 大島工業団地整備の進捗状況を伺う。

答弁 海底の基礎が立ち上がっている状況で、一部に仮護岸を施工し、手前のほうから埋め立てる手順である。また、水路の付け替えがあり、大体の断面が決定したので、(株)大島造船所と協議を行い、地元にも説明会をおこなっている。

議案第60号 平成29年度西海市交通船特別会計決算認定について
認定

歳入	1億1810万9821円
歳出	1億843万1193円
差引額	967万8628円

質疑 経営戦略策定委託料について伺う。

答弁 この業務は平成29年度の単年度で、ながさき地域政策研究所に委託し経営戦略を策定しているもので、利用者にとっての快適性や類似の経営体が経営状況等と比べてどのような状況であるかを調査し、今後の運営の提案をもらっている。

請願第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択願
不採択

請願第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について
不採択

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、決算案4件、修正予算案2件について審査を行いました。主な審査の概要は次のとおりです。

議案第57号 平成29年度西海市簡易水道事業特別会計決算認定について
認定

歳入	9258万1321円
歳出	8530万6359円
差引額	727万4962円

この議案は、水道事業の統合後、島しよ部に残された簡易水道の決算認定です。

質疑 昨年度と比較して漏水が多いことで平均有収率が悪化しているが、漏水の箇所は特定されているか。

答弁 漏水探知機であたっているが、全体的に少しずつ漏れており、現在のところ全部はわかっていない状態である。

質疑 平均有収率が54・99%で、昨



江島浄水場 (崎戸町江島)

年度の70・78%から約16%下がっている。対策を急ぐべきである。

答弁 維持管理で修理に努めたい。

質疑 数年前の大雪の時、空き家の漏水が問題になった。日常業務で空き家のメーター管理はしているか。

答弁 空き家でも開栓状態のところは検針しているが、給水停止の申込みがあるところは検針していない。

質疑 監査委員報告の中で、一般会計からの赤字補填に関して会計の健全化を指摘されているが、今後の整備計画はどうか。

答弁 現在、補助事業を使っているが、基本計画の中で整備計画を立て、思い切った補助事業を使い整備したい。

Q 有収率とは？

A 給水する水量と料金として収入のあった水量との比率。有収率が100に近いほど効率の良い水道事業運営となる。

厚生常任委員会

厚生常任委員会では、条例案4件、決算案3件、補正予算案2件について審査を行いました。主な議案の概要は次のとおりです。

議案第51号 西海市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
原案可決

この議案は、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律が平成29年7月31日に施行されたことに伴い本条例を制定するもので、市内の事業者が国及び県の承認を受けた地域経済牽引事業計画に従って施設を設置した場合、土地及び家屋等の取得に係る固定資産税を最初の3年度間免除するものです。

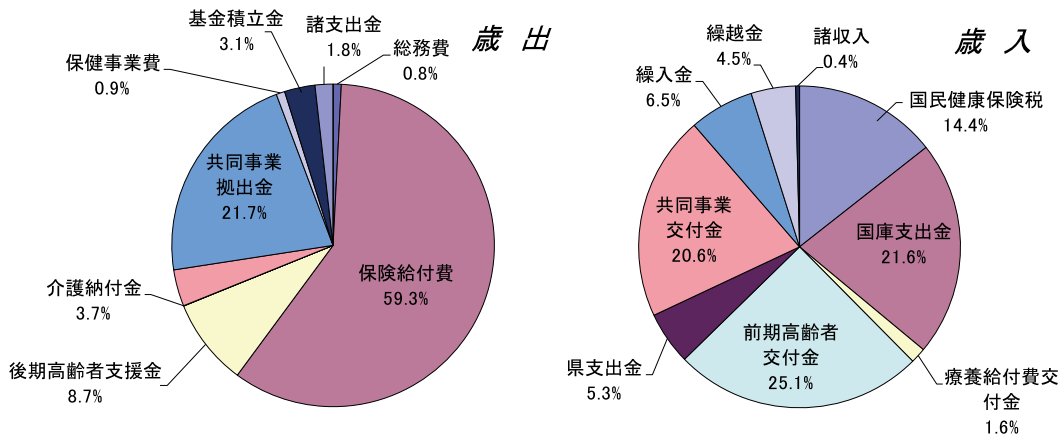
質疑 国・県の取組みに沿うのであれば、もっと早く条例を制定すべきではなかったか。

答弁 法律の制定後速やかに条例を制定し、事業者の方が申請しやすい環境をつくっておくべきであったと考えている。

議案第55号 平成29年度西海市国民健康保険特別会計決算認定について

歳入 50億1776万2808円
歳出 48億9914万5411円
差引額 1億1861万7397円

※決算の概要



質疑 国保税に係る差押えの状況は、

答弁 差押えの件数は、平成29年度は128件で、税額1035万7130円を国保税に充当している。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会では、決算案1件、補正予算案1件の審査を行いました。主な審査の概要は次の通りです

議案第54号平成29年度西海市一般会計決算認定について
認定

〔決算審査〕
歳入 248億4809万3802円
歳出 239億1770万4383円
差引額 9億3038万9419円

〔歳入〕

質疑 市有地のうち、市へ所有権を移転していない土地の固定資産税の課税状況は。

答弁 担当課から連絡を受けて非課税の処理を行っている。

質疑 市民税、固定資産税、軽自動車税の収納率が前年度より低下している理由は。

答弁 未申告だった方が年度途中で申告して課税となり、納付困難となったことなどである。

〔歳出〕

◎西海市プレミアム付き商品券発行支援事業

決算額 2330万4422円

西海市商工会が取り組むプレミアム率20%を付与した商品券「さいかいほっと券」を発行事業に補助し、市内消費拡大と商工業の活性化を図る事業です。

質疑 消費喚起効果4999万円の算出根拠は。

答弁 ほっと券購入により商品を購入した割合と現金を追加して購入した割合を算出し、その割合に商品券利用額と追加した現金を乗じて算出した。

◎地域維持補修事業

決算額 666万9768円

総務課及び総合支所が地域ごとに行う補修事業です。

質疑 総合支所長のみの決裁で事業が実施されたのか。

答弁 大瀬戸地区を除く他の地区は総合支所長の決裁で実施されている。大瀬戸地区は総務課で所管している。



西海市役所

◎小・中学校要保護児童生徒就学援助費

決算額 2441万748円

経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に必要な援助を行う事業です。

質疑 保護者が希望する援助対象項目を調査したことはあるのか。

答弁 調査したことはないが、国が示している項目はすべて対象としている。

質疑 対象者数の傾向は？

答弁 増加傾向にある。

質疑 対象となる児童生徒数は？

答弁 全体の児童生徒が19,000名に対し、必要保護が2,322名、要保護が28名となっている。

◎小・中学校学力検査委託事業

決算額 180万2,375円

本市独自の学力調査を実施し、児童生徒の学習内容の習得状況や授業者自身の指導の成果を把握する。

質疑 年2回の学力調査を年3回実施して、きめ細やかな対応はできないのか。

答弁 時期や回数など学力調査のあり方を今後検討する。

議案第64号 平成30年度西海市一般会計補正予算(第2号)

原案可決

〔補正額〕

補正前 198億9,641万9千円
追加額 22億4,335万2千円
補正後 221億3,977万1千円

◎新コミュニティ交通運行事業

補正額 287万1千5百円

高齢者等交通弱者の通院、買い物など生活交通の確保を図ることを目的に、離島を除く市内全域に予約乗合タクシーの運行を進めるため、10人乗りワゴン車4台の購入、予約受付システムを導入し、平成31年度から実証運行を実施する事業です。

質疑 平成31年度から運行する乗合タクシーの運行予定は。

答弁 運行日は、月曜日から金曜日までとし、土・日・祝日及び年末年始を運休とする。運行の範囲は、市内を4地区に分けて、西彼、西海、大瀬戸、大崎地区とする。運行ダイヤは、午前8時から午後4時まで、午前4便、午後4便となる。運行区域内を目的の地まで1時間以内に着くことができるような運行を考えている。

◎ブロック塀改修事業

補正額 1723万9千円

建築基準に適合しないブロック塀の改修を行う事業で、次の6か所が対象となります。

- ・間瀬保育所・崎戸小学校
- ・西彼中学校・崎戸中央公民館
- ・大島文化ホール・大島武道館

質疑 ブロック塀の改修は専決処分して早急に改修すべきだったのでは。また、安全対策はどうしているのか。

答弁 早急に対応が必要な改修は、既存予算で対応した。安全対策は、施設担当課に危険箇所の再点検と対策を講じるよう指示する。

◎小中学校校舎空調設備整備事業

補正額 2309万円

すべての普通教室に空調設備の整備を行う事業です。

質疑 学校の空調設備を順次整備していくとのことだが、扇風機のある教室とない教室を考慮してはどうか。

答弁 扇風機設置の有無も考慮しながら整備する。

◎中浦ジュリアン記念公園管理費

補正額 1397万7千円

県文化財に指定されている本公園の借地について、土地購入を行う。

質疑 中浦ジュリアン記念公園の借地を購入するに至った経緯は。

答弁 借地を解消する市の基本方針に基づき、土地賃貸借契約更新前に地権者と話し合いの上、購入に至ったもの。



中浦ジュリアン記念公園(西海町)

インターネット議会中継がはじまります。

西海市議会では現在、市議会本会議のインターネットによるライブ配信の準備を進めています。

パソコン、タブレット、スマートフォン等から、本会議での議員と市側理事者等との緊張感あふれる熱のこもった議論をリアルタイムで視聴できるようになります。ライブ配信の開始時期等については、次号の議会だよりにてお知らせいたします。





一 般 質 問



議員 利雄 とし お 岩本 いわもと

上下水道料金値上げをしなくて済むような財政運営を図れ

問 平成32年度から、上下水道料金の値上げを実施するとしている。

特に下水道会計においては、健全化を図るため、今後6年ごとに、調定額10パーセント増の料金改定を目指すとしている。水道事業等の企業会計においては、利用者の使用料金で事業を運営していくのが原則であることは十分承知しているが、食料品等の値上げが相次いでおり、市民にとって、上下水道料金値上げは大きな痛手である。行政改革や歳入増対策を強力に推進させ、それによって上下水道事業の運営費不足分を補填し、値上げをしなくて済むような財政運営をすべきである。市長の見解を伺う。

市長 平成29年度の下水道事業特別会計への一般会計からの繰入金金は8億円以上で、このうち6億円以上を公債費の財源としており、以前に整備した農業集落排水施設の起債償還額がその半数近くを占めている。

20年後にはその起債の償還が終了し、公債費も1億円に推移し、繰入金も約3億円まで減少する見込みであるが、まだ繰入金に依存した状況であり、決して健全とは言えない。また、水道事業も、平成29年度に2億円以上の純損失を計上している。

今後も老朽化が著しい管路や施設の更新事業を計画しており、起債償還額は約4億円で推移する見込みで、毎年度約2億円の純損失を計上することになるため、徹底した効率化、経営健全化に取り組んでいる。

上下水道料金を値上げしないで済むような方策としては、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない。行政改革と歳入増対策の推進は当然であり、上下水道料金改定については、市民の理解を得られるよう慎重に進めていく。



議員 正明 まさあき 清水 しみず

ホテル咲き都等について

問 土地の貸付について、契約の時期、内容の詳細を伺う。

市長 本年4月24日にホテルの用地約7400平方メートルを西海市普通財産貸付算定基準に基づき年額約141万円で貸し付けるという内容の契約を行った。

問 この土地の評価の方法を伺う。

西海ブランド振興部長 現況の地目による、固定資産評価額を基に算出している。

問 貸付料算定基準によると、土地の評価は時価相当額となっている。土地の評価の方法を改めて伺う。

西海ブランド振興部長 固定資産税評価額において算出している。貸付料は、貸付料算定基準に基づき時価相当額の100分6を掛けて算出している。

市長 道路案内標識や観光看板が、

15基ある。来年度の当初予算に撤去及び名称の消去の費用を計上するよう、検討を進めている。その取扱いについては、(株)KISS西海に意見を伺う。

問 看板等は管理が重要である。現在の所有者は誰なのか伺う。

西海ブランド振興部長 西海市の所有である。



ホテル咲き都等への案内看板

公共事業に伴う土地取得時の未登記について

問 約4500筆に及び未登記用地的固定資産税の課税状況について伺う。

市長 未登記個人名義所有地については、非課税措置となっている。担当課から税務課が報告を受けた時点で、未登記段階であっても非課税措置としている。

問 分筆すべき土地の面積を算出するための図面が存在するのか。

税務課長 税務システムの中で、面積を分割して把握するシステムがある。



一般質問



ともなが ひろし 議員
朝長 隆洋

大島幼稚園と間瀬保育所の運営方針を転換し、公立幼保連携型認定こども園に移行することについて

問 合併から現在まで、西海市立病院同様、市立の幼稚園及び市立保育所においても財政運営上民間移譲を進めていかなければ、合併算定替後には自治体として立ち行かなくなるといふ基本的な考え方から、西海市幼稚園保育所民営化等検討委員会の答申に基づき、蠣浦保育所を指定管理とし、横瀬保育所を民営化した。

市長 しかし、市長は急遽答申の方向を覆し、大島幼稚園と間瀬保育所については民営化せず、市で新たな施設を建設し、公立の幼保連携型認定こども園へ移行するとした。このことは市民に説明がつかないと同時に、地域によって政策を転換することになり、市民の間に子ども子育て政策において不公平が生じる。市長が民営より公営のほうがよいと判断する根拠は何か。

市長 公立であれ、私立であれ、地域における幼児教育保育の環境を

確保するという点では市の方針に違いはなく、市民の間に子ども子育て政策の不公平をもたらすことはない。認定こども園への移行と同時に、民営化ということになると大きな環境の変化をもたらすこととなり、利用する子供たちの影響が懸念される。

問 7年前に答申が出た際にわかつていたことではないのか。

市長 7年前から、私は公立がよいと思っていた。

問 7年間何の努力や議論もせず、財政健全化のために市民がこれまで流した涙と努力を無視して良いのか。

市長 公立病院は、民間委譲して職員の確保ができなかった。そうしたくない。後で民営化を考える。

問 結果的に、公務員を増やすことになる。後で民営化と言っても無理だと思うが。

市長 そうならないように最大限努力する。

問 綿密な将来の政策協議を踏まえなければ、この議論は出来ないが。

市長 しっかりとした形ある政策を示す。



間瀬保育所 (大島町)



ひらい みつひろ 議員
平井 満洋

長崎オランダ村について

問 平成28年に10年間の無償貸与の契約を結んでいるが、この先も継続するのか伺う。

市長 現在のところ、本契約等に違反する行為はないので、そのまま継続すべきと考えている。平成29年度決算等の状況を見る限り、雇用人数など当初計画どおりの成果が出ているとは言い難く、今後より一層の営業努力を求めている。

西海プレミアムほっと券について

問 全ての市民に行き渡っていない現状では、市民間にサービスの不公平感があると思うが、考えを伺う。

市長 1セット1万2000円分の商品券を1万円で購入することに、よって市内の消費意欲を喚起しようという事業であり、西海市商工会が主体となって取り組んでいる。より多くの方に行き渡るよう、抽選として購入限度額を1人5万円から3万円に引き下げたこともあり、申込者の75%が購入することができた。今後も商工会と協議しながら、最大限

の消費喚起効果を発揮できるように改善していく。

小中学校へのエアコン導入について

問 市内小中学校全ての普通教室に空調設備を整備すると公表されたが、具体的な内容について伺う。

教育長 小学校85教室、小中学校併設校5教室、中学校30教室、計120教室の整備を予定している。

空調設備整備工事については、小学校及び小中併設校を平成31年度に行い、32年度までには中学校で使用できるよう計画している。

交通空白地域について

問 現状と今後の対応策を伺う。

市長 多くの不便地区が存在している中、お年寄りなど交通弱者に対する通院や買い物などの支援を急ぐ必要がある。今回、10人乗りタクシー4台分の予算を計上している。



大瀬戸町松島地区を走る西海市コミュニティバス



一般質問



こ せ えい こ
瀬 栄子 議員

▼防犯外灯について

問 国道202号線（大瀬戸町板浦〜柳）沿いの外灯設置要望が寄せられた。同様の要望が平成23年度に区長連名で提出されており、平成22年度から29年度にかけて県が実施した整備事業計画に組み込まれていれば、設置できていたのではないかと検証した上で、改めて市として設置できないか。

市長 事業目的が通学路における夜間の犯罪防止であり、当時、多良小学校の廃校が決定していたので、計画に上げられなかったとのことである。先月、地域の自治会長より農産物加工場から柳口バス停までに3か所の設置申し込みがあり、来年度設置予定である。

問 各行政区からの要望には、どのくらいで対応しているのか。
市長 設置申請は条件を満たすものは受付の翌年度に設置。修繕申請は予算の範囲内で要望順に当年度に行なっている。

▼離島の救急搬送について

問 離島の救急搬送には課題があり、実際には漁船を所有している個人へ依頼しているのが現状で、移送費を患者がまず納め、後日払い戻される仕組みでは負担になる。長崎市の場合、船の借上げ料として患者の負担なしに搬送している。本市も同様にできないか。

市長 本市は、被保険者が傷病のため移送された場合、医療給付による償還払いとして申請により支給している。長崎市の救急搬送体制とは異なるシステムになっている。患者が移送費の準備をする必要のないシステム構築は、調査研究したい。

その他の質問
長崎オランダ村について
横瀬貯油所埠頭改良工事について



こ じ ま と し き
嶋 俊樹 議員

▼農業政策について 担い手の収益拡大につながる ソフト事業の開発は急務

問 政府は農業の競争強化のため、気象や土壌などの関連情報を一元的に把握できるデータベースを運用し、担い手や企業に開放する方針を決めた。政策と連携した市独自のデータ集積ができないか。

市長 国・県の補助事業の活用に加え、新しい取組みにより構築された手法などを積極的に導入し、栽培技術の向上と収益拡大を図りたい。また、政府が進めているデータ連携基盤が構築された際には、本市に係るデータを活用し、果樹や野菜の生産技術及び品質の向上を目指す。

問 農産物の品質向上と技術発展のために、IT企業の誘致を積極的推進してはどうか。
市長 農業データ連携基盤が企業等へ解放されると、栽培や営農指導、販売、経営など、農業の分野ごとに事業を展開するIT企業等の参加が想定されることから、そのような

企業に対し、本市を実証フィールドとして活用いただくよう提案活動を行う。

▼学校統廃合により普通財産化した 廃校や民間事業所の 休民財産の有効利用について

問 施設の活用についての現状はどうなっているか。

市長 関係する地域住民の意見や要望を踏まえ、利活用推進本部会議での検討を経て、体育館やグラウンドは社会体育施設や上水道施設、市営住宅用地として活用し、校舎は農業公社の事務所、市の文書保管庫などに活用している。



西海南中学校跡



一 般 質 問



う ち の し げ き
内 野 繁 樹 議 員

西海市の地域医療の確保について

問 福医会との定期的な会合を持っていると聞いているが、現在の状況について伺う。

市長 本年度は5月と8月に協議を行い、11月以降にも予定している。さいかいクリニックでは入院患者の受入をしていなかったが、看護師を確保し、9月3日から14床のうち一部を再開した。他の合意事項については実施されていない点があり、改善に努めるよう強く申し入れている。夜間診療についても十分な形でなされていない。

問 前定例会の質問に対し、「地域医療対策室の設置について前向きに検討する」と答弁されたが、その後状況について伺う。

市長 専門部署の設置については、専門的知識を有する方を外部から招聘することを念頭に、考えていきたい。

西海市内小中学校の児童生徒への通学費補助について

問 路線バスを利用して通学者に対しての補助金交付要綱に規定された補助要件について、通学距離、定期券購入額についての制限を取り払うことは考えられないか伺う。

教育長 子育て支援の見地から通学における保護者の経済的負担を考慮し、通学距離基準の短縮、負担額基準の引下げ等を検討したい。このルールができたのが古く、この質問を機に見直しを考えたい。

問 小学校区の中で、回数券が利用しやすい地域について補助を考えられないか伺う。

教育長 回数券について調査し、区間を限った回数券ができるのか検討し、クリアできれば前向きに検討したい。



その他の質問

今後、進んでいくであろう超高齢化社会や医療の担い手減少により、今と同じ医療サービスが利用できなくなる可能性に対し、どのように対処していくのか。



お と し 敏 雄
さ か た 嘉 田 議 員

大崎高校の活性化について

問 学校存続に向けた今後の取組みは。

教育長 新たに高等学校存続に特化した高等学校と教育委員会との協議を年に数回開催するとともに、現在高等学校魅力向上支援事業の補助対策事業の見直しを行い、平成31年度から地域と連携して取り組む「特色ある学校づくり支援事業」に加え、新たな取組みとして英検や資格取得受験料の補助などを行う「キャリア教育支援事業」を盛り込み、高等学校の魅力向上を支援したい。市内3校の存続に向けた支援に取り組んでいきたい。

問 野球部に新監督を迎え、学校を、島を、市を活気づけたいと頑張っている。野球部の生活環境の改善や寮、食事等さらなる充実が求められている。今後の取組みは。

教育長 現在の合宿所は、次年度までの入寮希望者受入は可能と考えている。再来年度の入寮希望者に関しては、入寮するための部屋が不足

する見込みである。実態を十分把握し、よりよいあり方と方向性を考えていきたい。

問 野球をやりたい子どもが入学することを考え、寮の整備など受入体制への取組みに対する予算化は。

教育次長 後援会と一緒に、今後どうしていくかを検討していきたい。具体的には今からだが、早急に検討したい。



長崎県立大崎高校 (大島町)

西海市青少年スポーツ振興基金の活用について

問 基金を活用して、市内3高校にスポーツの技術力向上を目指す考えはないか。

教育長 基金はスポーツ施設整備事業と九州大会以上の出場経費の補助だが、今後は技術力向上に向けたメニューも検討したい。



一般質問



議員 西浦 善彦

市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりについて

問 老朽化している水道施設の更新について伺う。

市長 漏水が頻繁に発生している管路等の状況も勘案し、早急な更新、工事が必要な管路等を優先した更新計画の検討を行う。

問 昨年(29年度)の有収率と漏水の数量金額を伺う。

水道部長 有収率70・28%、漏水約120万トン、水道料金に換算すると3億4000万円になる。

問 道路(路面、路肩等、除草含む)の改修を必要とする箇所はどのように把握し、対応しているのか、改修すべきと判断するに至る基準を含めて伺う。

市長 市民の皆様からの通報、行政区長からの要望などにより、現地確認を行い、通行車両や歩行者の危険度により建設課で判断している。

問 判断の基準はあるのか伺う。

建設部長 明確な基準はない。

学校の適正配置と子ども達の教育環境について

問 西海市が考える適正配置の基本的な考え方と今後の見通しを伺う。また、西海市の将来を担う子ども達には統廃合は必要と考えるか伺う。

教育長 西海市立小中学校適正配置基本計画では複式学級とならない6学級以上の規模が望ましいとされており、統廃合して生徒数が増えることにより、多様な個性を持つ仲間達と触れ合い共同して学習課題を解決する為のスキル、コミュニケーション能力や社会性が身に付くなど多集団で学ぶメリットも期待できるので、引き続き小学校の適正規模化、適正配置を進める。

その他の質問
西海市の将来像について
人口が減り続ける自治体としての身の丈にあった行政の在り方と人材(職員)の育成について 他



路面が著しく傷んでアスファルト下の碎石等が見られる道路(西海町水浦郷内)



議員 田川 正毅

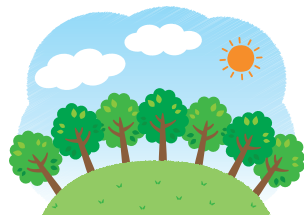
森林環境税の活用で里山再生を

問 来年度から新たな森林管理システムが施行され、森林環境譲与税の譲与も開始される。西海市の取組みと林業施策を伺う。

市長 この法律を最大限に活用し、県や森林組合、地元行政区の関係者と連携し市内の埋もれた森林資源を掘り起こし、市内産木材の利活用を図る。

問 被災地では木質仮設住宅の居住性が高く評価されている。また、最近都市部の若者の間では、タイニーハウス(小さな木造の家)への関心が高まっている。林業・建設業などの基幹産業の振興に寄与すると考えるか。

西海ブランド振興担当理事 都市と山村が連携して森林を整備保全することがこの法律の意義と考える。タイニーハウス事業を実施する民間事業者が必要だがシエ



都市と山村

アリング等により、都市部の方が週末を西海市で過ごしていただければ、移住のきっかけとなり得る。

教育長 野球部の寄宿舎をプレハブではなく、木のぬくもりのあるタイニーハウスで検討したい。

市長 これから本気を出して森林・林業の政策を立てていく。

大瀬戸ふれあいプールの温水化を図れ

問 現在、プール温水化を願う署名活動が行われ、すでに1000名を超える署名が集まっている。前回の答弁は検証することだったが、その結果を尋ねる。

教育長 現在の運用期間は6月から9月の4か月間だが、期間を延長すれば市外施設利用者の利用も見込まれる。現在、夏休み中に行う、小学生水泳教室は120名であるが、温水化でさらに利用が増加すると見込まれる。また、総合運動公園でスポーツを楽しんだ方の利用や病中病後の方のリハビリとしての利用も考えられ、医療費の抑制にもつながる。改修経費・運営経費は財政部局や保健福祉部などと連携し協議を進めていきたい。

問 プールの鉄骨の錆が落下している。保守点検と整備計画を伺う。

社会教育課長 平成31年度の予算編成で解決したい。



一 般 質 問



消防ポンプ自動車



あさだ なおゆき 議員
浅田 直幸 議員

消防の施策について

問 3月の道路交通法改正により、消防活動の障壁となりつつある問題にどう対処されるのか。

市長 ポンプ車を運転するためには準中型以上の免許が必要になる。将来的にはポンプ車による消防活動に支障をきたす状況になることが考えられるため、対策について検討す

る。オートマチック車限定の免許取得者が増加していく状況に対しては、オートマチックの消防積載車に順次入れ替えをしていく。

問 西海市商工会と消防団活動の支援に関する協定を締結する考えはないか。

市長 締結に向けて協議をしているところである。

問 消防団応援の店が市内に1軒もない。今後協力事業所を増やしていく考えは。

市長 西海市内の事業者においても、この取組みにご理解いただき、ご協力をしてもらえるよう周知を図っていく。

夏祭りの申請について

問 スタッフも少ない中、関係機関への書類申請を市のほうで一括申請できないか。

市長 申請書類は、実施主体となる団体が提出するものであり、また、補助金を支出しているので、適切ではないと考える。

認定子ども園について

問 認定子ども園に移行する施設に医療的ケア児を受け入れる体制整備の計画は。

市長 事業に従事する看護師の確保や財源の問題もあるので、今後も検討してきたい。

地域防災について

問 本市では防災に対する取組をどのように行っているか。

市長 本年4月から防災基地対策課を設置し、専門性を有した地域防災マネージャーを配置し、地域防災計画の見直しや防災訓練の企画・実施等を進めている。

空き家対策について

問 空き家対策について、本市がこれまでどのように取り組んで来たか、また、成果は。

市長 空き家等の管理の適正化を図るため、平成26年4月に関係条例を施行した。これにより立ち入り検査を行い所有者等への助言や指導が行えることになり、改善が見られない場合は、必要な措置を講じるよう勧告や命令も行えるようになった。また、所有者の金銭的な負担の軽減を図り危険空き家の除却が進むよう解体費の一部を補助する制度も創設した。平成27年2月には法律も整備され、現在は法と条例に基づいて空



すぎやま せいじ 議員
杉山 誠治 議員

子育てについて

き家対策に取り組んでいる。成果については平成29年度までの累計で148件の相談があり、特定危険空き家と認定したものは116件で、そのうち46件が解体された。

問 大島地区では学童保育が満員で子どもを預けられない。夏休み期間中の学童保育が開設できない現状と併せて、対策をしているか。また、子供の福祉医療費について、幼児は現物給付となっているが、小学生以上になると償還払いとなっている。小学生以上についても現物給付に変更できないか。

市長 支援員の不足等により13名発生した待機児童は、現在2名まで減少した。また、夏休み放課後児童クラブを開設し、17名の児童を受け入れた。新たなクラブの設置も働きかけており、今回の補正予算に設置費用の補助が含まれている。来年度は待機児童ゼロを実現させたい。福祉医療費の現物給付を先行導入している他市の状況では、医療費の増や国民健康保険の国庫負担金の減額などの財政的影響があり、慎重に検討したい。





常任委員会調査報告



総務文教常任委員会

調査項目

①防災計画について

②公有財産の利活用について

調査日時

平成30年7月20日(金)
午前10時～午後3時5分

今回、教育施設(学校施設)における防災計画と公有財産の利活用について調査を行った。

【防災計画について】

学校ごとに防災を含めた危機管理マニュアルを作成し、きちんと管理がされていると判断できる。しかし、本調査中、本市の各学校への空調設備の設置状況を質問したところ、小学校の普通教室については88教室中2教室、特別教室で157教室中27教室、14体育館中なし。中学校においては、普通教室が27教室中なし、特別教室が76教室中9教室、7体育館中なし。幼稚園については1教室設置をしているという回答があった。長崎県内の普通教室への設置率についても全体で8・6%程度であるが、全国平均からしても長崎県全体での設置が進んでいない。しかし、異常気象とも言える猛暑が続く中、熱中症により児童生徒の

尊い命が奪われており、空調設備の設置については、喫緊な課題と捉えなければならぬ。

それに併せて、通学路の防災対策として小中学校付近への防犯カメラの設置の話もあった。市内全域の要所に防犯カメラを設置することにより犯罪を予防する効果もあり、万が一犯罪が起きてしまった場合でも防犯カメラの映像から早期解決につながるため、防犯カメラの設置に向け、前向きに取り組んでいただきたい。

また、通学路上におけるブロッケンを早急に点検したとの報告もあり、その結果、小学校付近に1か所、倒壊の危険のあるブロッケンがあることが発見された。これについても早急な対応を講じられるよう強く要望していききたい。

【公有財産の利活用について】

(教育委員会所管)

教育施設に目的を絞ったことにより、文部科学省の国庫補助を受け教職員住宅が建設されている。そのため利活用については目的外使用にあたるため難しく、また、学校の統廃合の問題も含めて今後は利用率が下がることも懸念される。

今後は、財政部局とともに教職員も公営住宅に入居ができるような事業の進め方を調査研究していただきたい。



未入居となっている教職員住宅(西海町)

【教職員住宅】

市内全体 106戸のうち31戸が空き住宅となっている。

地区ごとの入居率

全 体	106戸中75戸入居	入居率70・8%
西彼地区	18戸中17戸入居	入居率94・4%
西海地区	21戸中17戸入居	入居率81・0%
大島地区	14戸中13戸入居	入居率92・9%
崎戸地区(本土)	14戸中2戸入居	入居率14・3%
崎戸地区(離島)	23戸中15戸入居	入居率65・2%
大瀬戸地区	16戸中11戸入居	入居率68・8%
空き住宅5戸		

年代ごとの建築年数戸数

昭和40年代	2戸
昭和50年代	32戸
昭和60年代	13戸
平成元年代	36戸
平成10年代	16戸
平成20年代	1戸
平成30年代	6戸

【公有財産の利活用について】

(財務課所管)

未利用となっている公有財産については、極力売却する方向であり、遊休となっている建物については解体し、また、新たに建設をする場合には担当部署だけではなく、組織を横断した協議等を実施し、今後、第3次西海市総合計画に基づく移住定住を図るという強い意思が示された結果、整備も管理もされていない状況であった。

50平米以上の広さを持つ宅地で登録されている遊休地は13筆で、雑種地等では640筆あり、今後は、遊休地となっている土地の洗い出しと精査を行い、有効活用していくとの説明があった。





崎戸町在住

増山 真美子

結婚し、西海市崎戸町に住み、11月で丸9年を迎えました。西海市内で生まれた私ですが、それまでに崎戸町を訪れたことは数回しかなく、結婚当初は田舎に住むよりも、早く佐世保に引っ越そうと考えていました。

そんな私が9年も住み続けている理由は、崎戸町の大自然に魅せられたからです。今の時期は、夕方子供たちと散歩し、魚を見つけては1日の出来事を話すのが日課です。悩みなどがあるときには、北緯33度線展望台に登ります。皆

さんは行かれたことがありますか？言葉では言い表せない絶景が広がっていますので、ぜひ一度足を運んでみてください。

また、西海市は子育てをしやすいまちだとも思います。保育料が2人目から無料になることは、佐世保在住の友人に話すとても驚かれます。ファミリーサポート制度も働きをする世帯にはありがたい制度です。

それに、子育てをしやすい広々とした住居も他の市に比べると手に入りやすいのではないのでしょうか。市が運営している空き家情報バンクも、もっと市民に知ってもらい、より登録件数を増やすことで新たな移住者を呼び寄せる足掛かりになるのではと思っています。

今、佐世保市や長崎市から西海市に通勤して来られる方も

多数いらつしやいます。その通勤に使われる30分、1時間が移住してもらおうと心豊かな時間に変わること、西海市がただの田舎ではなく、魅力あふれる田舎だということ、特に子育て世帯には十分なサポートがあることをたくさんの方に

知ってもらいたいのです。9年前の私のように、田舎に住むなんて...と思っていた人が、住んで良かったと思ってもらえるきっかけを作っていきたいと思えます。



郵便はがき

857-2392

郵送される場合は62円切手を貼って下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸桧浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第52号)

裏表紙に
西海市議会クイズが
あるよ！議会だよりを
よく読んで解答してね！



第8回 西海市議会 クイズ

ヒント

答えは全て本誌の中にあります。誌面をよく読んでお答えください。

(1)「議案第49号 西海市過疎地域自立促進計画の変更について」の審査を付託された常任委員会は？

- ① 総務文教常任委員会
- ② 産業建設常任委員会
- ③ 厚生常任委員会

(2) 議案第64号 平成30年度西海市一般会計補正予算(第2号)で、借地を購入する予算を計上された公園は。

- ① 中浦ジュリアン記念公園
- ② 横瀬浦公園
- ③ 伊佐ノ浦公園

(3) 今夏発表された、市内小中学校120教室に整備予定の設備は？

- ① 空調設備
- ② 音響設備
- ③ 調理設備

(4) 市内の教職員住宅106戸のうち、空き住宅は何戸？

- ① 11戸
- ② 21戸
- ③ 31戸

応募方法

下のがきを切り取り、各問題の回答欄に答えの番号を記入し、郵便でお送りいただくか、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へご提出ください。

締切

平成30年12月7日(金) 消印有効(7日支所提出分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で5名の方に、QUOカード(10000円分)をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

「個人情報取り扱いについて」

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送などの目的以外には利用いたしません。



編集後記

今年の夏もようやく終わったが、近年の異常気象や災害は特筆すべきものがある。今年も各地で水害、地震そして異常高温が相次いだ。西海市においても、台風7号による被害や異常高温にみまわれ、市民の皆様も大変な毎日を通されたことだろう。

そんな中、本市が小中学校のエアコン設置に本腰を入れることになったことは喜ばしい。今や、一般家庭では常識となった感のあるエアコンだが、子供たちが日中の大半を過ごす学校に、今まで設置されなかったことが不思議でならない。家庭においては、家族へのいたわりの心があれば、家計の中から思い切つてエアコンを取り付ける行動にも表れるだろうが、と思われる。

設置後は、夏の暑さにも冬の寒さにも負けない、身体の強い子供に育つように、エアコンと上手に付き合っていくってほしいものだ。我々も市民の声を議会に届けられるよう、しっかりと頑張っていくたい。

(杉山 誠治)



議会広報広聴委員会

第8回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

ふりがな

氏名

住所

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見